

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	212循環型社会の構築		
施策のねらい(めざす姿)	市民の資源の保全に関する意識が高まり、市民・事業者・行政が協働して、ごみ減量化、リサイクルへの積極的な取り組みが進められています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	市民生活部次長
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	マネージャー氏名	渡邊 忠明

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	ごみの減量とリサイクル率の向上を目指す。	③改革・改善内容	小型家電の取組みについて、回収拠点やイベント回収の手法等について検証を行う。また、ごみ分別アプリの普及促進を図るため、周知PRを強化する。また、ごみの減量化及び分別の徹底を図るため、出前講座やチラシによる周知活動を継続する。
②①に基づく取り組み結果	使用済小型家電リサイクル法に基づき回収事業を開始した。また、市民の利便性の向上を図るためごみ分別アプリの配信を開始した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民及び事業者	意図(対象をどうするのか)	市民、事業者、行政が連携し資源循環型社会の確立に向けて取り組む。
②施策の概要	資源循環型社会の構築を目指すため、ごみの減量化(リデュース)、再利用(リユース)、リサイクル(再資源化)の3Rを促進する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	資源化率の向上には分別の徹底が不可欠であり、ごみの分別に対する更なる意識の向上が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	プラスチック製容器包装類について、平成25年度のべール検査においてBランクとなったが、その後の分別徹底の取り組みの成果により26年度はAランクに回復した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	資源化率	%	20.6	20.9	20.5	上昇
	ii	最終処分率	%	8.8	8.4	8.3	減少
	iii						
③基本事業成果指標	i	市民1人1日当たりごみ排出量	g	797	801	795	減少
	ii	リサイクル情報の掲載件数	件	20	21	14	増加
	iii	資源化率	%	20.6	20.9	20.5	上昇
	iv	最終処分量	t	2,809	2,691	2,638	減少
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	1,411,033	1,362,912	(単位:円)	12,545 円	1,267,154		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合により一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)が平成25年3月に策定され、資源化率などの目標値も掲げられているが、達成するためには更なる減量化施策が必要。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	最終処分率や市民1人1日当たりのごみ排出量は共に減少傾向を示しているが、資源化率は下がっているため。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	→ 維持
③特に重点化する事務事業	ごみ減量業務に要する経費		
④上記方向性の説明	ごみの更なる減量化を図るため、分別の徹底や資源化率の向上策を講じていく。		